

『「津波の仕組みと津波避難」 講演会(1.2年生)』風景

平成30年11月27日

【学校安全総合支援事業に関する講演】

本校は、校区内の一部が志布志湾に面しています。過去の南海トラフ巨大地震の被害では、最大震度6弱、津波の到達までの時間は約40分、想定される津波の高さは7mとなっており、地震による津波が発生した場合、海岸地域において大きな被害が及びことが予想されます。

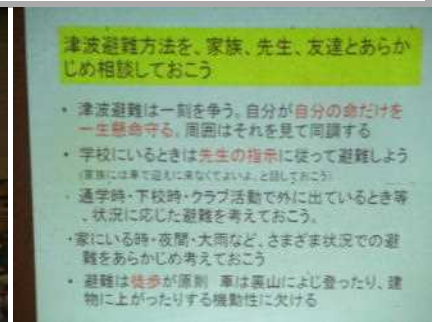
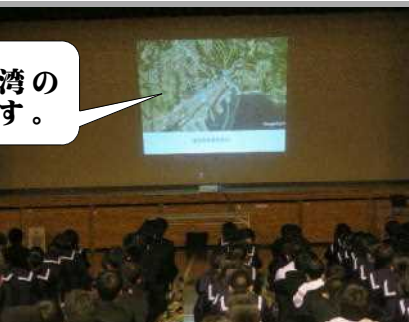
そこで、本事業では、海岸線に近く、津波対策を課題としている学校間の連携や家庭・地域との連携強化をめざして本事業を実施しています。



- 人ってちっぽけな存在なんだなと思いました。例えがすごく分かりやすかった。僕も命を守れる存在になりたいです。やっぱり命が一番なんだなと思いました。
- 私は、人って地球よりはるかに小さいんだろうなと講話を聴いて、初めて知りました。講話を聴いていると難しい部分もあったけど、全部分かりやすく、みんなに伝えるように説明してくださってありがとうございました。地震による被害がたくさんあることは、前から少し知っていたけど、車を使うよりは徒歩で避難するというのは、初めて知ったので、大人になって自分が車に乗っているときに地震が来たら、ちゃんと車から降りて、徒歩で避難するようにしたいと思いました。でも、何年か先に南海トラフ地震が発生する予定なので、聴いたことをしっかり守って避難したいです。



志布志湾の
写真です。



- 僕は、どこかで地震が起きたのを知った時、他人事のように受け止めていました。でも、今日のお話を聞いて、この志布志でも地震が起こるか分からないという重要なことに気がきました。人は、地球よりはるかに小さい。だから自然災害が起きた時には逃げるのが勝ちという事をしっかり頭の中に入れておきたいと思います。
- 身近な災害での危険性を改めて知ることができました。志布志は、海に近く、地震が起こった時に、津波が来る可能性が大きいです。そのことを考えながら、過ごしていきたいと思いました。このような地震や津波などの自然災害が起こった時に、「自分の命」を一生懸命守ることが大切なのだと知りました。友達や家族がどこかに避難していることを信じて、避難したいです。